

第2回

地域社会の多様性を促進する日本語教育研究会

参加費：無料

募集定員：対面10名

4 質の高い教育を
みんなに



日本語教育研究会について

●研究会代表 **服部 明子**

三重大学 教育学部・教育学研究科 准教授

三重県内の外国人就労者数は年々増加しており、居住する外国人の方々が、日本人と一緒に日常の社会生活を安心して円滑に過ごせる環境を社会全体が整備することに取り組む必要があります。本研究会では、地域の日本語教育に関する幅広いテーマを取り上げ、講演会およびワークショップ開催を通じ、北勢地域の企業や市民の皆様への専門的な知見の提供に加え、関係組織間を結ぶ連携基盤を構築し、地域社会を下支えすることを目指しています。

第2回 開催概要

日時 2021年12月16日(木) 14時00分～17時00分

場所 ユマニテックプラザ・3階 312研修室
〔四日市市鶴の森1丁目4-28〕

対象 外国人社員への日本語研修に関心のある企業の方、日本語教育に関心がある方

内容 【第1部 講演(オンライン)】 14時00分～15時00分

「ダイバーシティな職場における
新しい日本語コミュニケーション能力の目標づくり」

〔講師〕(株)デンソー技術企画部 **森島 聡 氏**



- ・2015年、経理畑から異動し、海外拠点技術者の日本語研修に初めて関わる。職場の外国人社員の実用的な日本語コミュニケーション能力向上を目指し、新たなプロジェクトを立ち上げる。
- ・2018年、YAMASA言語文化研究所(岡崎市)と就労者向けのコミュニケーション能力目標基準「HDスタンダード」を共同開発。日本語教育学会での口頭発表や各種セミナーで普及活動に努める。
- ・2020年、厚生労働省・文部科学省が設置した、就労者向け日本語教育改革事業の研究会に参画。同年、初代HDS研究会会長に就任。

【第2部 ワークショップ(会場のみ)】 15時10分～16時10分

「職場で学ぶ・協働で学ぶ ―「みんなのパネル」の作成と活用」三重大学人文学部 **吉田悦子**

- ・地域の中小企業や農業経営体を含む多くの職場は、実習生を雇用することで職場が異文化接触場面となり、言語や文化の違いから生じる問題への対応が課題となっている。
- ・三重県の養鶏場という地域産業を支える職場において、外国人技能実習生を雇用することで生じる様々な課題とその解決の糸口を見出すツールとして、作業マニュアル「みんなのパネル」を作成した。
- ・日本語の協働学習支援としての作業マニュアルの特徴と工夫、およびその活用について考えたい。
(JSPS科研費18K18506)



【第3部 交流会(会場のみ)】 16時10分～17時00分

お申し込み
方法等

2021年12月14日(火)までに以下4つの事項をE-Mailにてお知らせください。
①ご所属機関名・役職 ②お名前 ③連絡先(電話・E-mail)
④対面参加またはオンライン参加(講演のみ)のご希望
その他、日本語教育等に関して当日質問したいことがございましたら自由にお寄せください。

(お申し込み先) 三重大学北勢サテライト E-mail: hokusei@rscn.mie-u.ac.jp

主催：三重大学 後援：三重県国際交流財団(MIEF) JSPS科研費18K12425